

～鳥取型「新しい生活様式」実践向け～

スポーツジムにおける

事業継続のための新型コロナウイルス感染拡大予防対策例

新型コロナウイルス感染を予防し、営業を継続するため、スポーツジムが実施するサービス等の場面ごとに発生するおそれがある感染リスクへの対策例を整理しました。

皆さんの施設の状況や実情等にあわせて実践してください。

※ この対策例は最新の情報に基づき適宜更新していきます。

新型コロナ安心対策認証店制度

新型コロナ対策に自ら取り組む事業所を対象に、県が審査し認証を与える「新型コロナ安心対策認証店制度」を設けています。

原則としてガイドラインの全ての項目を適用し、対策を明記した対策の手順書を策定の上、実際の運用を行うことが必要です。

認証には、県の職員等による立入検査で感染拡大予防対策が独自の手順書どおり実施されているか確認を受けることが必要で、感染予防対策が講じられていると認めた施設には、認証書及びステッカーを交付します。



**新型コロナ対策で安全とおもてなしにつながる事業所へ、
認証取得を県がサポートします。未参加のお店は是非、参加しましょう。**

詳しくは、県庁くらしの安心推進課までご相談ください。

認証店の情報は、**とっとりずむ** の特設サイトで紹介しています。

【くらしの安心推進課HP】



【認証特設サイト:とっとりずむ】



LINEによるとっとり新型コロナ対策安心登録システム

このシステムにより発行されたQRコードを店舗に設置することで、店舗利用者がQRコードを読み込んだ店名、日時、LINEアカウントが県に登録されます。利用者が新型コロナウイルスに感染した可能性がある場合、県からその情報をお知らせし、感染拡大防止に向けたお願いなどを案内します。

店舗へQRコードを掲示していただき、来店者に登録を促すようにお願いします。



問合わせ先
新型コロナ克服くらしの
安心相談・応援窓口

東部 県庁くらしの安心推進課
中部 中部総合事務所環境建築局
西部 西部ワンストップセンター

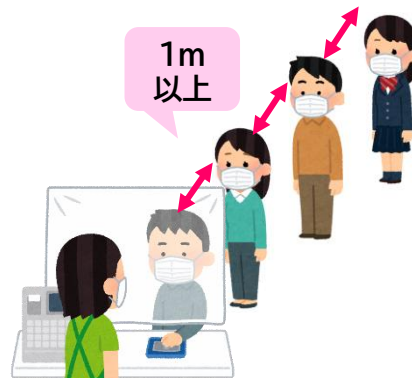
☎0857-26-7982
☎0858-23-3982
☎0859-31-9637

施設の感染防止対策 (例)

- 換気の徹底(CO₂は1,000ppm以下)
30分ごとに5分程度の換気

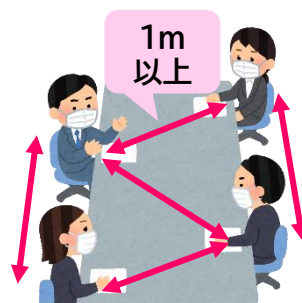


- 十分なフィジカルディスタンスの確保



- 手指消毒の徹底

- マスク着用の徹底



正しいマスクの着用



正しい手洗いの方法



消毒液の種類と用途

主な用途

石けん・ハンドソープによる手洗い

手指

アルコール (60%以上95%以下)

※県のガイドラインでは90%以下

手指

物品

塩素系漂白剤等

(次亜塩素酸ナトリウム 0.05%以上)

物品

※ 以下を参考に、市販の塩素系漂白剤(主成分が次亜塩素酸ナトリウムであるもの)を薄めてください。
また、商品によって濃度が異なりますので、商品パッケージやメーカーのHPの説明をご確認ください。

- ①ハイター、キッチンハイター(花王)
水1Lに25mL(商品付属のキャップ1杯)
- ②ブリーチ、キッチンブリーチ(ミツエイ)
水1Lに10mL(商品付属のキャップ1/2杯)

※ 樹脂製の手袋をつけて取扱いましょう。皮膚についた場合、ただちに水で洗い流しましょう。

※ 腐食性があるので、金属へ使用した後は必ず水拭きしましょう。

スポーツジムの営業場面ごとの感染拡大予防対策

1 開店準備

- ・ スタッフに出勤前に体温を測定させ、発熱や咳、咽頭痛等の症状があるスタッフは自宅待機させましょう。
 - ▶ **スタッフの体調不良を事前に把握することが重要です。**
- ・ 感染したスタッフや濃厚接触者と判断されたスタッフの就業は禁止しましょう。
 - ▶ **体調不良の方が申し出られるよう、休暇を取りやすい環境・体制を作りましょう。**
- ・ 開店に備えてスタジオやプールなどの各エリアの扉や窓を開けるなど施設全体の十分な換気をしましょう。
 - ▶ **空気を入れ替えることが重要です。窓がない場合は換気扇や扇風機なども活用して空気の流れを作って吸込口（入口）と吹出口（出口）を意識して空気を入れ替えましょう。**
 - ① 窓を開けても風が入りにくい場合の工夫
空気が入ってくる窓を小さく、空気を外へ出す窓を大きく開けて空気の流れを作りましょう。
 - ② 窓がない場合の工夫
換気口も無い場合は、ドアを開けて扇風機などで部屋の外に空気を出す流れを作りましょう。また、換気口がある場合は、ドアを開けて扇風機などで部屋の中に空気を送り込む流れを作りましょう。
 - ▶ **特に換気が不十分になりやすい室内は、に二酸化炭素濃度測定器を設置する等により換気状況を常時モニターし、1,000ppm以下を維持することが望ましい。**
- ・ 施設内の各エリアでお客様が密集しないよう、設置固定している什器（ロッカーやソファ）や運動器具（トレーニングマシンなど）は、人と人との距離（フィジカルディスタンス）を確保できるだけの数に予め設定しましょう。
- ・ スタッフの出入りやお客様の動線は可能な限り分離しましょう。
 - ▶ **スタッフを感染リスクから守ることも重要です。施設裏口等を活用しましょう。**
- ・ 発熱や咳、咽頭痛等の症状のあるお客様には来店いただかないよう掲示をしましょう。
- ・ トイレのドアノブ、手すり、ロッカー、トレーニングマシンなど、各エリアで多くのお客様が触れる部分は入念に拭き取り清掃及び消毒液による消毒をしましょう。
- ・ スタッフは来客用のトイレの使用を控えましょう。
 - ▶ **接触の機会を減らすことが重要です。お客様とトイレを共有する場合は、これまで以上に手洗いの励行を呼びかけましょう。**
- ・ 感染予防対策に万全を期していることや具体的な対策をスタッフで共有しましょう。
- ・ 施設利用者の記録を管理して、最短でも1ヶ月分は保持しましょう。
- ・ 感染予防のためサービス内容の変更・中止も検討しましょう。
 - ▶ **サービス内容を変更・中止する場合は、その旨を掲示しましょう。**
- ・ 新型コロナウイルス感染予防対策協賛店はステッカーを入口に掲示しましょう。
- ・ 鳥取県新型コロナ対策認証事業店はステッカーを入口に掲示しましょう。
- ・ 厚生労働省が提供している接触確認アプリ（COCOA）の起動を呼びかける掲示物や、「とっとり新型コロナ対策安心登録システム」の登録を勧めるQRコードをレジや待合に掲示しましょう。

2 フロント（チェックイン・チェックアウト・入会説明）

- ・ フィジカルディスタンスを確保できるよう施設規模やトレーニングマシン数に応じた予約制を取り入れましょう。
 - ・ 来店時にお客様の体調確認を行い、発熱や咳、咽頭痛等の症状のあるお客様のチェックインはお断りしましょう。
 - ▶ お客様の体温確認のため、非接触型の体温計の導入も検討しましょう。
 - ・ 来店時にお客様がマスク（不織布製を推奨。以下同じ。）を着用していることを確認し、運動時以外は必ずマスクを着用するよう要請しましょう。また、運動中でもできるだけマスクを着用すること、マスク着用が可能な運動強度で活動するよう要請しましょう。
 - ▶ マスクを持っていないお客様に備えて、提供できるマスクを用意しましょう。
 - ▶ 基礎疾患等の理由でマスクを着用できない方もあります。そのような場合は十分な距離を取る、咳エチケット（タオル等で口を覆う等）を徹底するなど、マスクに代わる対応をお願いしましょう。
 - ▶ 運動強度や熱中症対策等のため運動中にやむを得ずマスクを外す場合は、十分な距離を取るよう要請するとともに、事業者もそれに対応した設備の配置やレッスン内容としましょう。
 - ・ 来店時に厚生労働省が提供している接触確認アプリ（COCOA）の利用及び「とっとり新型コロナ対策安心登録システム」の登録を推奨しましょう。
 - ・ 出入口や各エリア入口に手指の消毒設備を設置し、入店時にお客様に手指消毒を要請しましょう。
 - ▶ 施設内での手指の洗浄や消毒の励行も呼びかけましょう。
 - ・ フロントでお客様が密集しないようカウンター前に立ち位置を示して、間隔をあけて並んでいただくよう呼びかけましょう。
 - ・ チェックインやチェックアウトを確認するスタッフはマスクを着用するとともに、直接の対面を避けるためにアクリル板や透明ビニールカーテンで遮蔽しましょう。
 - ▶ お客様自身が受付処理する方法も検討しましょう。
 - ・ お客様に、施設内で大声での会話は控えていただくよう要請しましょう。
 - ▶ 施設内放送による呼びかけ等も有効です。
 - ・ 入会のお客様への対応は、チェックイン・チェックアウトのお客様がフロントで密集しないよう別の場所で飛沫感染に注意して行いましょう。
 - ・ 会費等の支払いには電子決済を活用しましょう。現金等を扱う場合は手渡しは避け、トレイに置いて受け渡しましょう。
 - ・ 下足ロッカー付近で密集しないよう、フィジカルディスタンスを確保して利用するよう呼びかけたり掲示を行いましょう。
- ### 3 ロッカールーム（更衣室）
- ・ お客様に、大声での会話は控えていただくよう呼びかけたり掲示を行いましょう。
 - ▶ ロッカールーム内等ではマスクを着用しましょう。
 - ・ 窓を開けたり換気扇を起動し、常時可能な限り換気しましょう。
 - ▶ 空気を入れ替えることが重要です。扇風機なども活用して空気の流れを作って吸込口（入口）と吹出口（出口）を意識して空気を入れ替えましょう。

- ・ お客様がロッカー付近で密集しないよう、フィジカルディスタンスを確保して利用するよう呼びかけたり掲示を行いましょ。う。
 - ▶ ロッカールーム内のゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する利用者の数を制限する等の対策を行いましょ。う。
- ・ ロッカーはチェックイン時に鍵を貸し出すなどにより使用状況を管理し、お客様が入れ替わる都度、使用したロッカーの取手や鍵などのお客様が触れる部分を入念に拭き取り清掃及び消毒液による消毒をしましょ。う。
- ・ 設備（洗面台の蛇口取手など）や備品（ドライヤーや体重計など）で多くのお客様が触れる部分は、定期的に拭き取り清掃及び消毒液による消毒をしましょ。う。
- ・ 綿棒、コットンなどの提供やブラシ等の共有は避け、お客様に持参していただくようお願いしましょ。う。
 - ▶ 用意する場合は、お客様ごとに要望に応じて使い捨てや消毒済みのものを提供しましょ。う。

4 トレーニングジム

- ・ お客様に、大声での会話は控えていただくよう呼びかけたり掲示を行いましょ。う。
- ・ 窓を開けたり換気扇を起動し、常時可能な限り換気しましょ。う。
 - ▶ 空気を入れ替えることが重要です。扇風機なども活用して空気の流れを作って吸込口（入口）と吹出口（出口）を意識して空気を入れ替えましょ。う。
- ・ トレーニングマシンはお客様同士のフィジカルディスタンスを確保できるよう配置しましょ。う。
 - ▶ 飛沫感染を防止することが重要です。アクリル板や透明ビニールカーテン等で隣のお客様や通路スペースのお客様と遮蔽することも有効です。
- ・ トレーニングマシンに汗拭き用として設置されているタオルの共有は避けましょ。う。
- ・ トレーニングマシンのレバーやサドルなど多くのお客様が触れる部分は、定期的に拭き取り清掃及び消毒液による消毒をしましょ。う。
- ・ トレーニングマシンの使用順番待ちでマシン付近にお客様が密集しないように、整理券発行などの対応をしましょ。う。
- ・ お客様に、使用する前後にトレーニングマシンの触れる部分を拭き取り清掃及び消毒液による消毒をするよう呼びかけましょ。う。
 - ▶ お客様にこまめに消毒いただけるようにトレーニングマシンごとにアルコールを設置しましょ。う。
 - ▶ 接触の機会を減らすことが重要です。お客様に手袋着用のうえで使用していただくことも有効です。
- ・ トレーニングマシンの使用方法を説明するスタッフやトレーナーは、マスクを着用するとともに、お客様の真正面としないようにするなど、お客様と可能な範囲でフィジカルディスタンスを保ちましょ。う。
- ・ トレーナーは、補助によるお客様との接触を控えましょ。う。
- ・ トレーニングマシンを使用した後に手洗いをするよう呼びかけたり掲示を行いましょ。う。

5 スタジオレッスン

- ・お客様（付き添いの父母等を含む）に、大声での会話は控えていただくよう呼びかけたり掲示を行いましょう。
- ・窓を開けたり換気扇を起動し、常時可能な限り換気しましょう。
 - ▶空気を入れ替えることが重要です。扇風機なども活用して空気の流れを作って吸入口（入口）と吹出口（出口）を意識して空気を入れ替えましょう。
- ・フィジカルディスタンスを確保できるスタジオ収容人数を予め設定するとともに、床にテープを貼るなど、お客様の立ち位置の目安を示しましょう。
- ・スタジオレッスンでお客様に貸し出す運動用具（バランスボールやマットなど）は、返却の都度、拭き取り清掃及び消毒液による消毒をしましょう。
- ・場所取りでスタジオ入口付近にお客様が密集しないように、整理券発行や間隔をあけて並んでいただくよう呼びかけるなどの対応をしましょう。
- ・スタッフやトレーナーは、運動時以外はマスクを着用するとともに、お客様同様に運動する場合はお客様の真正面は避け、フィジカルディスタンスを保ちましょう。
- ・トレーナー自身が大声を出したり、お客様に大声の発声を促すことは控えましょう。
- ・床に手をつくレッスンの場合、レッスン前に床も消毒しましょう。
- ・床に手をついたり、運動用具を使用した後に手洗いをするよう呼びかけたり掲示を行いましょう。

6 プール

- ・お客様（付き添いの父母等を含む）に、大声での会話は控えていただくよう呼びかけたり掲示を行いましょう。
- ・窓を開けたり換気扇を起動し、常時可能な限り換気しましょう。
 - ▶空気を入れ替えることが重要です。扇風機なども活用して空気の流れを作って吸入口（入口）と吹出口（出口）を意識して空気を入れ替えましょう。
- ・フィジカルディスタンスを確保できる入水人数を予め設定するとともに、プールやプールサイドの一面でお客様が密集しないように、監視スタッフやトレーナーは状況を監視し、空いているコースへのお客様の誘導や注意喚起をしましょう。
- ・プールサイドのデッキチェアなどはフィジカルディスタンスを確保できるよう配置しましょう。
 - ▶飛沫感染を防止することが重要です。アクリル板や透明ビニールカーテン等で隣のお客様と遮蔽することも有効です。
- ・手すり（水面より上に出ている部分）や洗顔水栓の取手など多くのお客様が触れる部分は、定期的に拭き取り清掃及び消毒液による消毒をしましょう。
- ・プール教室でお客様に貸し出す運動用具（ビート板や浮き具など）は、返却の都度、消毒しましょう。
- ・監視スタッフやトレーナーは、プールサイドではマスクを着用するとともに、お客様の真正面とならないようにするなど、お客様と可能な範囲でフィジカルディスタンスを保ちましょう。

7 浴室（スパ・サウナ）

- ・お客様に、会話は控えめにさせていただくとともにフィジカルディスタンスを確保して利用いただくよう呼びかけたり掲示を行いましょう。
- ・窓を開けたり換気扇を起動し、常時可能な限り換気しましょう。
- ・脱衣所ロッカー付近で密集しないよう、フィジカルディスタンスを確保して利用するよう呼びかけたり掲示を行いましょう。
- ・ドアノブや脱衣所ロッカーなど多くのお客様が触れる部分は、定期的に拭き取り清掃及び消毒液による消毒をしましょう。
- ・サウナでの防熱マットなどを共有して使用することは避けましょう。

8 リラクゼーションスペース・休憩室

- ・お客様に、大声での会話は控えていただくよう呼びかけたり掲示を行いましょう。
- ・窓を開けたり換気扇を起動し、常時可能な限り換気しましょう。
 - ▶空気を入れ替えることが重要です。扇風機なども活用して空気の流れを作って吸入口（入口）と吹出口（出口）を意識して空気を入れ替えましょう。
- ・マッサージチェアやソファなどはフィジカルディスタンスを確保できるよう配置しましょう。
 - ▶飛沫感染を防止することが重要です。アクリル板や透明ビニールカーテン等で隣のお客様と遮蔽することも有効です。
- ・リラクゼーションスペースや休憩室で水分補給以外の飲食を認める場合は、対面となるテーブルやカウンターにパーティションを設置する、真正面を避けた座席配置とするなど、飛沫感染対策を十分に行いましょう。また、会話の際は必ずマスクをつけるよう、掲示等で要請しましょう。
- ・お客様に、必要以上の長時間の利用は控えるよう呼びかけましょう。
- ・自動販売機のボタンやマッサージチェアの背もたれなど、多くのお客様が触れる部分は、定期的に拭き取り清掃及び消毒液による消毒をしましょう。

9 閉店後

- ・明日の営業に備えて、スタジオやプール等の各エリアの扉や窓を開けるなど施設全体の十分な換気を行いましょう。
 - ▶空気を入れ替えることが重要です。窓がない場合は換気扇や扇風機なども活用して空気の流れを作って吹出口（入口）と吸出口（出口）を意識して空気を入れ替えましょう。
- ・施設内清掃を徹底し、各エリアで多くのお客様が触れる部分は、入念に拭き取り清掃及び消毒液による消毒をしましょう。
- ・スタッフのユニフォームはこまめに洗濯しましょう。
- ・ゴミ出しを行う場合は、マスクや手袋を着用しましょう。マスクや手袋を外した後は必ず手を洗いましょう。

10 店舗の管理

- ・換気設備を定期的に点検しましょう。
- ・洋式トイレでは蓋を閉めて汚物を流すよう掲示しましょう。

- 手洗いはペーパータオルを活用しましょう。ハンドドライヤーを使用する場合は、定期的な清掃や消毒をしましょう。
- ゴミはゴミ箱（蓋つきが望ましい）に入れて密閉しましょう。
- 従業員の控え室等も換気や拭き取り清掃及び消毒液による消毒を徹底しましょう。休憩室を複数人が利用される場合は、マスク着用、ディスタンスの確保のほか、会話を控え、定期的な換気を心がけましょう。
- 従業員は、定期的に消毒状況やお客様のマスク着用、密集の状況などを点検しましょう。